社会（歴史的分野）第一次世界大戦がおこった背景

●一斉学習  ■同時進行型

実践タイトル マインドマップを使って整理した学習内容を文章で表現

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

PC 実物投影機
教員が用意した静止画 生徒のノート

- 作成したマインドマップを使って、学習内容を文章にまとめ、吟味する。
- 時代の背景、経過・影響のイメージを静止画によって理解させ、ノートによるフィードバックに応じた指導を行う。

参考にしてほしいポイント

- マインドマップなどのシンキング・ツールを活用することで、既知の知識と新しく得た知識の関連を整理できる。
- ノートを使った学習活動を展開することで、他の生徒がどう理解したかを「見て」、自分の考えに反映させることができる。

本時の展開（主な学習活動）

<table>
<thead>
<tr>
<th>学習の流れ（分）</th>
<th>主な学習活動</th>
<th>ICT機器・教材、コンテンツ等</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>対面</td>
<td>0</td>
<td><em>生徒は先行学習（予習的な家庭学習）を行っている状態。</em>&lt;br&gt;・学習課題「第一次世界大戦がおこった原因をわかりやすく伝えよう」の提示。</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td></td>
<td>&lt;br&gt;・グループ学習（4人班×8）によるマインドマップの作成。&lt;br&gt;・発表する班（4人班×4）とそれを受ける班（4人班×4）による吟味。</td>
</tr>
<tr>
<td>展開</td>
<td>30</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>まとめ</td>
<td>30</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 50 | |  |<br>・社会的事象を説明する際に、その原因（背景）、経過、結果（影響）を意識して文章を書くように心がけるようになった。

ICT活用への児童生徒の反応等

- 出来事や場所、国名とのつながりや関わりについて、お互いのノートを見ることで、自分の考えを深めることができた。

活用効果

評価の観点  | 具体的変容  | 社会的な思考・判断・表現 |
|------------|-------------|--------------------------|

実践の手応え

- 学習内容についての吟味をする場合、ノートを提示することで、何について、どう考えているのかを相手に伝えやすくなる。
- 実物投影機によって、生徒の考えを即時に提示し共有することができる。
- 実物投影機の撮影機能により、記録し、他のクラスで再利用することができる。